

同意書

氏名： _____ 様 生年月日： _____

シグモイドファイバー

11-14

大腸内視鏡検査は大腸ファイバーと呼ばれ、管を肛門から挿入して大腸の観察や組織検査をしたりする検査です。大腸癌をはじめ、大腸疾患にはなくてはならない検査です。検査の内容について十分理解していただき、注意事項を厳守していただかなくてはなりませんので、検査前に是非お読みください。

前日及び当日

- ・シグモイドファイバーは当日の浣腸のみです。

検査の実際

肛門より内視鏡(カメラ)を挿入します。
大腸ファイバーなら通常は盲腸まで、シグモイドファイバーはS状結腸までの挿入となります。異常があった場合はその部分の粘膜を摘み取り、検査を行います。結果は一週間ぐらいかかりません。

合併症

まれな合併症に大腸穿孔があります。検査の過程で腸に孔が開いておこります。主な症状としては、激しい腹痛、発熱などがあります。腹膜炎などで、症状が強い場合は緊急手術が必要(手術の発生率は0.03%：1万人に3人くらいの割合)となります。緊急手術では死亡の可能性もあります。(検査全体の0.0007%：100万人に7人くらい。)

その他、出血や血圧低下、意識障害など、色々な合併症が起こる可能性があります。それがわかった場合は、すぐご本人に説明し、状況によって最適だと思われる方法で対応します。なお、今回は検査と生検だけであり、ポリープの切除などの治療は行いません。検査と同時に治療も希望される場合(この場合は入院が必要です)は、別途説明用紙や同意書を用意しています。

※なお、この検査は病状経過によって繰り返し行うことがあります。ご不明な点や質問がありましたら担当医に遠慮なくお尋ねください。

